10期進路通信

２０１７年６月
第　２　号

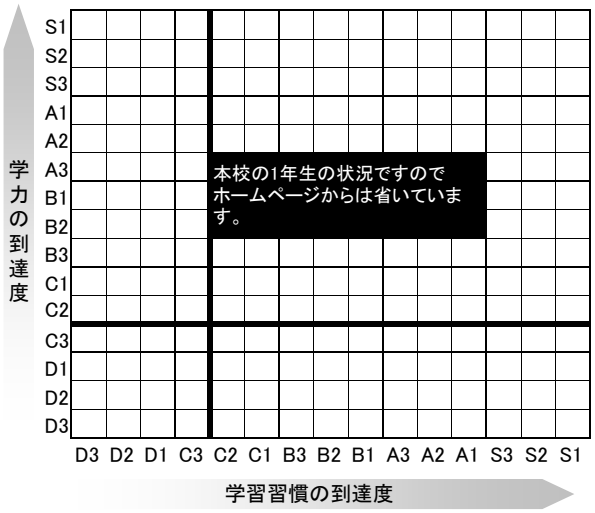
高校生になってはや３ヶ月。体育祭は楽しめましたか。クラスではこれから文化祭に向けて忙しくなってくる時期ですね。こういった行事は社会人基礎力＝「前に踏み出す力（自分から動く）」「考え抜く力（自分で考える）」「チームで働く力（チームワーク）」の３つの能力を涵養する絶好のチャンス。**いざ『受験モード』に突入したときに思い通りに成績がぐんぐん伸び、行きたい学校に合格できる力ともなる。**しかし、それを阻む重大な要因が２つある。「毎日コンスタントに勉強する」クセがついていない人、「時間をかけて勉強しているのに結果が出ない」人がたくさんいることだ。

学力と学習習慣のバランスをチェックしよう

今のキミは何タイプ？

↑学力	学習習慣	
	学習要注意型 学　　力：◎ 学習習慣：▲	**「高校生」完成型** 学　　力：◎ 学習習慣：◎
	「高校生」になりきれて 学　　力：▲ 学習習慣：▲	**大逆転型** 学　　力：▲ 学習習慣：◎

2017年度 スタディーサポート1年生1回



タイプ別学習アドバイス

●**「高校生」完成型の人：**　学力も学習習慣も身についている。しかし国公立や関関同立レベルを目指すのなら学力の到達度A3以上を目指してほしい。到達度を１ランク上 げるのに必要な得点は７点程度だ。そのためには・・・

＊「**間違い直しノート**」をきちんと作っていけば大きな力となるだろう。間違った設問をノートの左ページに貼り、解説や模範解答を丁寧に読んで理解した後で、右ページに解答を“再現”する。理解できない問題は先生や友人に聞いて解決する。そして週末や月末に必ず復習日を設けて再度やってみる。　模範解答を隠して自力で解ければ理解と暗記が定着している証拠だ。
しかし、途中で 詰まったときは設問に「×」印を付けて模範解答・解説を熟読した上で解き直しをする。スタディチャージだけでなく定期テストでもやってほしい。

●**学習要注意型の人：**自宅学習を毎日行う習慣をつけねば大事なときにダッシュできない。気づいたときにはもう遅い「ゆでカエル」状態になる人多し。目を覚ませ！

●**大逆転型の人：**勉強の「やり方」を変えてみよう。高１の時期は勉強のやり方を変えて逆転する絶好のチャンス。一刻も早く学習法を教科の先生に聞きに行って大逆転を図ろう。

●**「高校生」になりきれていない型の人：**学校の勉強とは別に＊＊「基礎力再建プラン」が必要。たとえば英語なら教科書Groveの１ページを辞書を引きながら２０分程度で大体の意味がとれない人は中学～高校入門期に習う英文法や単語力で大きな“穴”を残しているケースが多い。動詞のカタマリが見抜けない、be動詞と一般動詞を混同する、SVOOなどの構文が把握できないような人は中学レベルの英文法に戻ってやり直した方がいい。やると決めたら教科の先生に再建プランを聞きに行こう。

＊＊「基礎力再建プラン」が必要な人はレベルは違えども上のどの型にも存在する。授業についていけないのは、決して頭が悪いからではなく、過去のどこかで“穴”を作ってきたことが最大の原因。それさえ自覚できれば、わからなくなった地点に戻って、残してきた“穴”を順番に埋めていけばいいのだ。基礎力が充実してくるに応じて「間違い直しノート」の威力も実感するだろう。